

H20.6.21

北海道新聞

スキー場活性化策は

倶知安で環境シンポジウム開幕

【倶知安】全国のスキー場関係者らが環境保護とスキー場活性化策を話し合う「マウンテンリゾート活性化のための環境シンポジウム」(実行委主催)が二十日、ホテルニセコアルペンで始まった。昨年十一月に続いての開催。元スキーアルペン日本代表で実行委代表の平沢岳さんが「ニセコは将来の国内

スキー場のモデルとなる可能性がある」とあいさつ。神原理・専修大教授は「スキー場のあるまちづくり」を提唱、スキー場をまちの機能としてとらえ直す発想を促した。

また、子供たちを対象にした自然観察・自然体験の必要性や、冬以外の季節の魅力発信を提言する意見が出された。二十一日は午前十時から講演と勉強会が行われるほか、午後一時からスキー場で清掃ハイキング体験もある。(竹村康治)